

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム おれんじ友

作成日: 平成 31年 1月 8日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日々の取り組みや1日の過ごし方を家族等に しっかり伝える時間を作る。	①1日の流れを施設内の見やすい場所に掲示し、説明する。 ②毎月の広報を手渡しすると同時に日々の様子、実践した内容について写真等を見てもらいながら伝えていく。また、訪問できない家族については、郵送して様子をしっかりと伝えていく。	6ヶ月
2	36 (1 4)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	排泄時の配慮について、職員が忘れかけている「利用者に対し思いを寄せる心」を今一度初心にかえり、利用者目線の支援を考えていく。	①排泄支援時のトイレドアは必ず閉める。 ②全職員が共通した認識を持って支援できるようにミーティング時に1人ひとりが自己反省する時間を作る。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。